

「阿波の歴史を小説にする会」(竹内菊世会長)が公募していた「阿波の歴史小説42集―阿波の騒動」の読書感想文の入賞・入選作品が決まった。

第1席の徳島新聞社賞は森川まどかさん(18) 生光学園高3年IIの「道は続く」が選ばれた。

四国放送賞は渡辺恵子さん(63) 徳島市IIの「母の足音が聞こえる」、全国徳島県人会連合会賞は大本泉さん(21) 関西学院大3年、阿波市出身IIの「ヘルマンの思い」、徳島商工会議所会頭賞は田中遥泰さん(82) 徳島市IIの「久米惣七の情熱に感服」だった。

「碑に問え」(竹内菊世作)を取り上げた「道は続く」は、徳島県初の

## 「阿波の歴史小説」感想文

### 第1席に森川さん(生光学園高3年)

女性国会議員・紅露みつとその夫の考え方を、筆者自身の家族の生き方と絡めながら描いた。本当の意味での男女同権やジェンダーフリーの社会が実現することを願う気持ち伝わってくる作品だ。

県内外の15〜90歳から77点の応募があり、桑原恵徳島大教授、富永正志県立文学書道館長、竹内会長の3人が審査した。

読書感想文は、1980年から発行する「阿波の歴史小説」の知名度を向上させる目的で2016年から募っており、今年で7回目。優秀賞を含めた入賞9作品は、次号43集「阿波の川ものがたり」に収録される。

新型コロナウイルスの影響で、予定されていた表彰式は中止される。

(柏木康浩)

◇ その他の入賞・入選者は次の皆さん。

- 【優秀賞】阿波製紙賞 乾晴美(徳島市)▽イルローザ賞 高木茉那美(城東高2年)▽河野メリクロン賞 中村昌宏(徳島市)▽徳島製粉賞 岡本幸(徳島市)▽茜庵賞 天野京子(小松島市)
- 【奨励賞】築地堅一郎(徳島市)、割石禮子(北島町)
- 【入選】喜多浩一、坂井陽(以上徳島市)土橋喜一、山崎泰子、湯浅百世(以上小松島市)澤田典子、柴純代(以上阿南市)古谷ますみ(吉野川市)竹倉宏一(板野町)中野良一(横浜市)山森凧希(城東高2年)